

# みしま 市議会だより

No.183

2019 2.1

今回の  
定例会

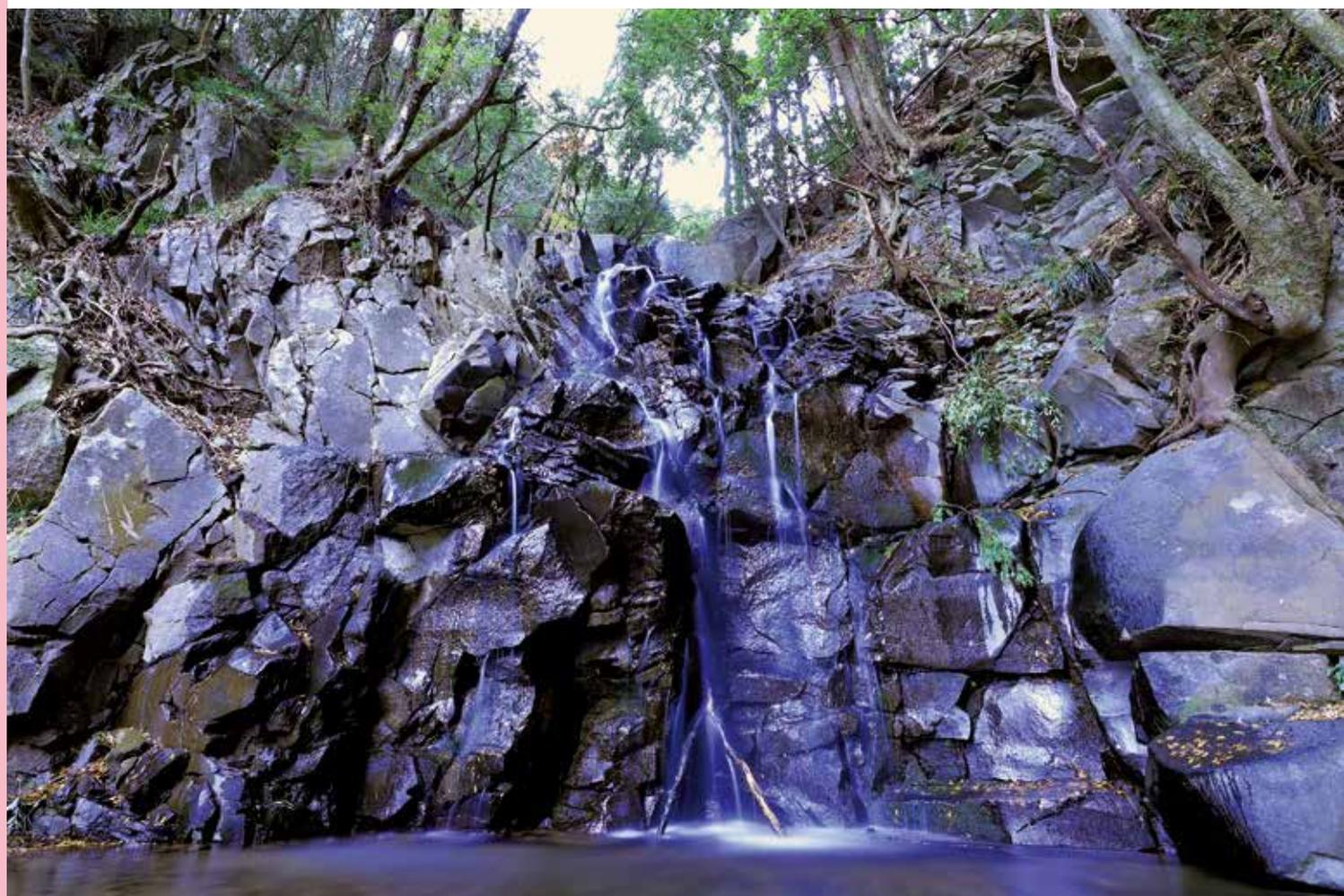
11月

2月

6月

9月

主に11月定例会の  
情報をお伝えます。



松尾の滝（山田川上流（笹原新田））

## CONTENTS

|                |    |
|----------------|----|
| 11月定例会 議案審議の概要 | 2  |
| 市政に対する一般質問     | 4  |
| 先進地に学ぶ 視察報告    | 10 |
| 議会報告会を開催しました   | 12 |



Pick up 1  
条例の制定

「生きる力」を育むために

○三島市児童発達支援事業所条例  
障がい児が心身ともに健やかに育つよう児童発達支援などを行う「三島市児童発達支援事業所」の設置や管理に必要な事項を定めるものです。（公布の日から施行）  
発達支援課はつたばた分室の名称が正式に三島市児童発達支援事業所となります。  
※愛称『にこパル』は変わりません。

**主な質疑**  
**質疑** 利用対象者が障がい児のみになっているが、保護者の相談対応などは。

**答弁** 児童発達支援事業は、児童福祉法に定められた障がい児通所支援サービスであり、その対象者は、サービスを受けることが決定された、障がいのある児童本人である。  
一方、従来から、事業所利用に関することや、利用児の保護者からの相談については錦田たんぼぼ教室棟で発達支援課の職員が対応しており、引き続き、同じように対応していく。



○三島市発達支援センター条例  
発達障がいに関する相談業務や市民の理解を深めるための啓発活動などを行う「三島市発達支援センター」の設置および管理に関し必要な事項を定めるものです。

**主な質疑**  
**質疑** 幼稚園・保育園・小中学校などの連携は。  
**答弁** 発達支援センターの相談業務は、各課、関係機関との横の連携を図りながら、対応することを基本と考え、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校へなどライフステージごとの縦の連携についても一緒に対応していきたいと考えている。



平成30年  
11月定例会  
11月20日～12月4日  
会期：15日間

■今回の議案は…

市長提出議案16件  
議会提出議案 0件  
請願 1件

この号では次の項目を Pick up!

Pick up 1  
〈議第 88 号〉  
三島市児童発達支援事業所条例  
(全会一致)  
〈議第 89 号〉  
三島市発達支援センター条例  
(全会一致)

Pick up 2  
〈議第 85～87 号〉  
公の施設の指定管理者の指定  
(全会一致)

Pick up 3  
〈議第 80 号〉  
平成 30 年度三島市一般会計  
補正予算 (第 4 号) (全会一致)  
■補正予算額  
2 億 7,913 万 8,000 円

Pick up 4  
〈請願第 1 号〉  
請願の審査

詳細は

三島市議会  検索

すべての議案名と結果など  
詳細は、三島市議会ホームページをご覧ください。

**Pick up 2**  
指定管理者の指定

**提案の独自性に重点**

平成31年3月31日に期間が満了する公の施設の指定管理者について、指定する議案を可決しました。期間は平成31年4月1日から5年間です。

▼三島市社会福祉会館

【指定管理者となる団体】社会福祉法人三島市社会福祉協議会

▼三島市高齢者いきがいセンター

【指定管理者となる団体】公益社団法人三島市シルバー人材センター

▼三島市民体育館などの体育施設

【指定管理者となる団体】シンコー・アズビル・三島体協グループ

**主な質疑**

**質疑** 体育施設の審査項目と配点見直しの内容は。

**答弁** 経営能力や人員配置など9つを審査項目とし、主な見直しの内容として、「スポーツ教室によるスポーツ・運動実施率の向上について」の項目の新設や、自主事業におけるスポーツ未実施者や無関心層の行動を促すような観点、安定した施設運営や提案の独自性

に重点をおいた。

**質疑** 体育施設の新規の取り組みは。

**答弁** 「長伏50mプールへの人工スケートリンクの設置」が提案されている。地盤沈下のため供用を中止している50mプールを整備し、夏のプール開放期間外にスケートリンクを設置する。これは実際に氷を張るのではなく、人工樹脂によるリンクで、転んでも濡れないという特徴がある。



**Pick up 3**  
一般会計予算を増額補正

**複雑化する子育て相談への対応**

○職員構成の変動などによる人件費

1292万5千円

**主な質疑**

**質疑** 家庭児童相談員報酬の増額の理由は。

**答弁** 家庭や地域における養育力や子育て機能の低下が懸念される中、子どもや家庭を取り巻く相談件数は増加し、その内容も複雑化している。三島市の相談件数も増

加傾向にあり、また緊急に対応しなければならぬこともあるため、家庭児童相談室の相談員を1人増員し、体制強化を図っていく。

**〈その他、歳出の主な内容〉**

- 自立支援給付等事業 1億9,169万2,000円
- 子ども・子育て支援給付費 返還金 4,423万円
- 児童保育事業 1,200万円
- 特別保育委託事業 519万6,000円
- 市道維持修繕事業 2,200万円

**Pick up 4**  
請願の審査

**再開発事業にむけて**

9月定例会で提出された「三島駅南口東街区再開発事業に関する請願」は、経済建設委員会に付託され、10月22日に審査を行いました。賛成少数で不採択とすべきものとなりました。

また、11月定例会においても、賛成少数で不採択となりました。

**人事案件に同意**

【三島市外4組合公平委員会委員】

【人権擁護委員】土屋 賢太郎氏

**平成30年  
12月臨時会  
12月26日**

〈議第95号〉  
平成30年度三島市一般会計補正予算(第5号)(全会一致)  
■補正予算額  
11億1,243万2,000円

12月26日に市議会臨時会が開催されました。国の交付金の内示を受け、小中学校のエアコン整備の予算を増額補正するための審議を行い、全会一致で可決しました。

これにより、2020年度に予定されていた中学校へのエアコン設置が1年前倒しとなり、2019(平成31)年度に全ての小中学校にエアコンが設置されることとなりました。



**主な質疑**

**質疑** 交付金の対象範囲は。

**答弁** 臨時特例交付金の対象は、普通教室および特別教室のエアコンの新設に限り内定となった。従って、普通教室と特別教室以外の場所への設置や、既存のエアコンの更新については対象外となる。

ここが聞きたい!

# 一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

16人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

伊丹 雅治 (改革みしま)

## 三島駅南口東街区再開発事業

**Q** 市民説明会の際、アンケートで寄せられた意見は、まさに貴重な市民の声である。この市民の思いをどのような手法で取り入れるのか。

**A** ご意見やご要望は、多岐にわたるため、都市計画決定や組合設立認可など事業検討の段階別にいつまでに検討するのかを仕分け、事業採算性や東街区全体のコンセプトを勘案する中で、可能な限り施設計画に反映させることを、準備組合や事業協力者と協議する。

## 三ツ谷工業団地完成後の企業誘致

**Q** 企業の進出需要が多い一方で、企業側の希望に沿った用地提供ができない問題点をどのように解決していくか。

**A** 三ツ谷工業団地造成工事完成に向け、企業誘致を進める一方で、新たな産業用地の開発を検討するため、現地を調査し、新たな候補地の絞り込みを行っている。企業の需要を含めた受け皿とすべく、新たな産業用地の創出を積極的に推進する。



## 他の質問事項

混雑する箱根西麓エリアのバス事情

土屋 利絵 (改革みしま)

## 新幹線を含む通学定期券代の補助を

**Q** 地域に貢献することを条件に、対象となる学生に向けて新幹線を含む通学定期代の補助を行うことを要望するが、市の見解を伺う。

**A** 1人暮らしをする学生、新幹線通学をする学生、ともに保護者の皆さまが大変な思いで送りや定期代の捻出をしていることを推察すると、通学者のみを対象とした補助事業を行うことが適切かどうか、事業効果と合わせて、さらなる研究が必要と考える。

## 外国の子どもたちの日本語支援

**Q** 近年在日外国人が増える中、子どもたちの日本語支援や学習する環境を整える必要がある。県と連携して取り組むことはできないか。

**A** 現在、県主催の連絡会や協議会に市および県の担当者やボランティアなどが集まり、研修や情報交換を行っている。さらに、県と市、学校とボランティアが連携し、日本語支援の環境を作っている。今後も、各団体などと情報共有を密に行い、連携に努めていく。



## 村田 耕一（公明党）

### 三島駅南口東街区再開発事業の施設計画案

Q 市民の皆さまからの意見を踏まえた市の施設計画案は、平成31年2月に複数案作成して提示できないか。

A 計画案の検討には多額の経費を要し、準備組合が将来的に事業費の中で負担するため、複数案の提示は難しい。頂いたご意見のほか、権利者の将来の生活再建、市場性の確認など、多角的な観点で計画を検討し、最適と考えられる案を示し説明していきたい。

### 三島駅南口自転車等駐車場の使用の仕組み

Q 利用者が増加し駐車可能台数を超える状況を見越して、三島市民の利用を優先する仕組みを検討すべきではないか。

A 三島駅南口自転車等駐車場は、JR、伊豆箱根鉄道の三島駅に隣接しているため、市内に通勤・通学している利用者も多く、さまざまな利用形態のある中で、区別が難しい。今後、利用の推移を見ながら管理の仕組みを考えていく。



#### 他の質問事項

停電時の対応と対策

## 弓場 重明（清論会）

### 今こそ教育委員会の指導力に期待

Q 教職員の飲酒運転、児童生徒に対するわいせつ行為、パワハラやセクハラなどの不祥事が後を絶たない。三島市の現状を伺う。

A 議員ご指摘のように、県内において、懲戒処分となる事案が発生している。三島市における現状は過去5年間で、教職員が加害者となる人身を伴う交通事故の事案が3件という状況であった。

### マンホールトイレの整備

Q 国土交通省は、避難所におけるマンホールトイレの速やかな整備を求めている。県補助金の確保や工事予算、着工年度などの工程を伺う。

A 管路の耐震性能の確保が必要であるため、西部地区の耐震化事業と併せ、2022年度に西小学校への設置を計画している。また県補助金を活用し、すでに管路の耐震性能が確保された錦田小学校に概算事業費約700万円、2019年度以降に設置を予定している。



#### 他の質問事項

駅前再開発に伴う交通網の再構築

## 大房 正治（緑水会）

### 急激な気候変動に伴う防災体制

Q 平成30年は台風が強い勢力のまま北上し、各地で被害をもたらした。当市では大雨・洪水に関する避難情報の発令はどのくらいあったか。

A 台風12号接近時に暴風のピークが深夜となり、発令の基準に達する可能性があったため「避難準備・高齢者等避難開始」を1回発令した。指定緊急避難場所として市内学校、地域の公民館34か所を開設し、50人が避難した。今後も的確、迅速に避難情報を発令していく。



### 児童虐待の実態と対策

Q 児童虐待は大きく4つに分類され、身体的虐待・ネグレクト（育児放棄）・心理的虐待・性的虐待とあるが、三島市の実態はどうか。

A 家庭児童相談室に寄せられた平成29年度の虐待に関する相談は延べ45件、虐待件数は7件である。虐待の種類別件数は児童相談所においても市町ごとには公表していないため控えるが、いずれも関係機関と連携する中で迅速に、適切な支援、指導を行っている。

#### 他の質問事項

三ツ谷工業団地土地区画整理事業

## 石渡 光一（新未来21）

### 「伊豆マラソン」の復活

Q JAAF RunLinkに加盟し、安全な運営と市民の要望に応える第10回記念「伊豆マラソン」大会を開催すべきと考えるがいかがか。

A 今後の伊豆マラソンの開催については、ランナーが参加したくなる大会を目指し、伊豆マラソンに代わる広域的で魅力ある新たな大会の開催を視野に入れる必要がある。オリンピックの記念の考えも含め、関係する市町とともにその可能性を検討していく。



### 運動部活動の在り方ガイドライン

Q スポーツ庁によるガイドラインの通り、地域スポーツと連携して、冬季も1〜2時間運動できる環境を検討してはいかがか。

A 中学校での部活動終了後におけるスポーツ環境の整備については、生徒のニーズを踏まえ、さまざまな団体や関係機関などと課題を共有し、連携の在り方について研究していく。

### 他の質問事項

公認指導者資格の取得率向上について

## 佐野 淳祥（改革みしま）

### 保育園における待機児童などの解消への提案

Q 公立幼稚園には、500人分の空きがある。給食サービスも始まる来年、預かり保育を延長し、待機児童200人の受け皿とできないか。

A 預かり保育を午後6時まで延長することは、待機児童などの代替的な受け皿とするための有効な手段の一つと考えられる。正規および臨時職員を含めた職員体制の確保などの見通しがつけば、試験的な導入に向けて、前向きに検討していきたい。



### PTA功労者を三島市政功労表彰の対象に

Q 多忙な子育て世代がPTA活動に奉仕し、より良い教育環境の整備に尽力している。市政功労表彰の対象に加えることはできないか。

A 被表彰者は条例中の基準により選出し、表彰審査委員会で決定される。PTA活動も対象となり、表彰基準に職年数に達しない場合でも功績が特に顕著であれば対象となり得るが、感謝状などの表彰も含め個々に応じた一番ふさわしい表彰により功績をたたえたい。

## 大石 一太郎（清論会）

### 東街区再開発事業の比較検証と市の考え方

Q 審査結果が2位の事業者は商業床面積が8421㎡、1位は4214㎡の提案であった。市民の望む地域活性化や駅前への魅力は創出されるのか。

A 持続的にぎわい創出のため、商業規模は需要に合った適正規模とし、運営し続けることが必要である。また、三島駅南口が拠点となり、人呼び込み、駅前から街に回遊させ、各商店街もにぎわうことで、市街地全体の活性化につながるものと考えている。



### 西街区の土地開発公社などの土地処理

Q 東急ホテルへの売却に伴う支出2億9千万円のほか、簿価差損が8678万円発生した。市民理解が得られない額だが、その損金処理を伺う。

A 簿価差損については、公拡法第18条の規定に基づき、平成29年度土地開発公社決算において特別損失として処理を行った。平成30年5月31日の公社理事會において理事全員の承認を受け、平成30年6月12日の三島市議會議6月定例会において報告を行っている。

## 藤江 康儀（改革みしま）

### 地域防災力強化のための消防団の充実

Q 消火活動に使うポンプ車の多くが、道路交通法改正後は普通免許では運転できない。準中型免許を取得するための助成について伺う。

A 平成29年3月の免許制度改正により、新たな団員の普通免許で運転できる車両が制限され、準中型免許がないと活動に支障が出る分団も出てくる。準中型免許取得には15万円以上の費用が必要となるため、負担軽減を目的とした助成制度について検討していく。



### キャリア教育の取り組み

Q 人生のさまざまな障害の中で役割を見出し、いく基盤となる能力を育てる、キャリア教育の具体的な取り組みについて伺う。

A 各学校では、日々の教育活動全体の中で取り組んでおり、特に中学校で実践している職業体験は、三島市全体で推進している。またキャリア教育担当者会を開催し、各学校の取り組みを共有するとともに、より効果的なキャリア教育の実践に向けて協議を重ねている。

## 野村 諒子（清論会）

### 公表した30年間の長期財政計画の目的

Q 市税総額と義務的経費の関係だけで一般財源過不足見込みを判断し、三島駅前再開発などの大型事業の妥当性を図る理由は何か。

A 公表した長期財政計画は、三島駅前再開発などの大型事業にかかる一般財源必要額のほか、義務的経費の一般財源総額を推計し、歳入の根幹である市税総額と比較することで、長期的に支払いが滞るような財政破綻の心配はないことを説明したものである。

### 公共施設の利用に関する市民合意とは

Q 使用年数を80年に延長するに当たり、統廃合や複合化などを要するが、施設の利用状況をはじめ市民との合意形成はどうするのか。

A 2019年5月の広報みしまで現時点での案を公表し、その後市民説明会やワークショップを開催して市民意見を聴取し、有識者や市民の代表で組織する検討委員会で意見を集約していく。また、統廃合や複合化の対象施設については、必要に応じて検討部会を設置する。



## 中村 仁（清論会）

### 企業会計になった下水道事業の現状と課題

Q 平成30年度、一般会計から8億円余り繰り入れられる。受益者負担の原則からも下水道を利用する調整区域での分担金を検討すべきではないか。

A 過去の審議会や議会で、現行の受益者分担金は負担金と同様の金額とする、との答弁の経過もあるが、市民の受益と負担の在り方について、平成31年度に策定を予定している下水道事業経営戦略の財見通しの中で検討していく。

### 議会報告会で出た駅前東街区への市民の疑問

Q 一部事業区域に含まれないところがあると聞くと、全体での開発が望ましい。一部区域外とするとはどのように決定されたのか。

A 平成21年に当該土地建物の、当時の所有者と面会し事業に参画できない旨を確認した。前市長に報告・協議し区域から除外して検討する方向性となり、平成22年の準備組合総会で一部区域外とする基本構想の見直し報告・了承された。

### 他の質問事項

市の姿勢が市民でなく地権者優先に思える点



## 服部 正平（日本共産党議員団）

### 放課後児童クラブの待機児童解消

Q 「子ども・子育て支援事業計画」では、利用見込み数を全て受け入れる計画である。施設基準の1人1・65㎡の面積は確保されるのか。

A これまでも定員増のための拡充整備を進めてきたが、現在、待機児童が発生し、施設基準1人1・65㎡を満たしていないクラブもある。施設基準の経過措置の期限である2019年度末に向け、待機児童解消と施設基準達成のために、引き続き拡充整備を進めていく。

### 新中学生の学生服購入の負担軽減

Q 入学時の制服購入は負担との声を聞く。制服の価格が学校ごと違う点も問題と考えるが、価格差の解消を含め負担軽減の対応を伺う。

A 中学校の制服は、各学校が独自で選考委員会などを設け選考したものである。市教育委員会としては、経済的理由で就学困難な場合、就学援助制度により必要な費用の一部を援助している。また、PTA主催のバザーにおける制服などのリサイクルを各学校に促したい。



## 佐藤 寛文（清論会）

### 長期財政計画における軽自動車税の収

Q 25年後本市の人口は2割減、高齢化率3割増の将来推計を示す一方、軽自動車税が3倍増収の計画となっている。この根拠を伺う。

A 平成28年度の税率改正により税額が毎年増えるほか、高齢者の軽自動車への乗り換えや、働く女性の増加により、軽自動車登録台数の増加が見込まれる。さらに、軽自動車取得税の廃止に伴い、軽自動車環境性能割が新たに市税として創設されることも決定している。



### 6次産業創出事業費補助金

Q 補助金の交付に当たり審査会を開催したと公文書に記載があるが、会議に関する議事録が一切ない。審査会は本当に開催されたのか。

A 審査会のメンバーが出席している会議において、補助金を活用した事業を展開する旨を説明し、了承を頂いたこと、また、欠席した審査員にも意思を確認したこと、また、審査会に必要な各審査員の意思確認がなされたものと考えている。

## 下山 一美（日本共産党議員団）

### 三島市の生活保護行政を改善するための提案

Q 生活保護のしおりに憲法第25条を記載し、生活保護が国民の文化的で最低限度の生活を保障する国の義務であると明記してはどうか。

A 生活保護のしおりは、生活保護の受給に係る相談や、保護開始時の説明の際に使用している。平成30年11月2日に、日本共産党三島市委員会および日本共産党三島市議会議員団からの要望を受けて内容を見直し、憲法第25条の理念などをすでに明記して使用している。

Q 生活保護の申請者や受給者へ温かく丁寧に対応できるように、法律に規定された数以上のケースワーカーを配置すべきではないか。

A 現在のケースワーカーの配置数は育児休業代替職員を含めて9人であり、育児休業から復職の際には標準定数9人を充足できるものと考えている。また、将来的には社会福祉士あるいは精神保健福祉士の採用と配置についても全体を見ながら検討していきたい。



### 他の質問事項

全ての受給者宅へのエアコンの設置を求める

## 杉澤 正人（清論会）

### 平成30年10月の市民説明会の資料から伺う

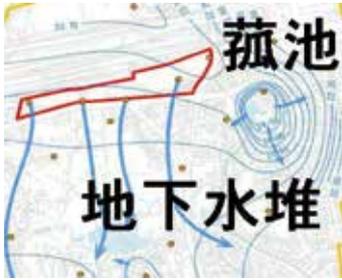
Q 平成6年度の駅前断面断面層図にあった三島溶岩上の「盛り土」約5mが今回の図面に書かれていないのはなぜか。

A この資料は平成5、6年度およびそれ以降に実施した調査結果を基に作成した。平成5、6年度当時の断面位置とは異なり、駐車場の南側の断面図であるため盛り土は記載していない。三島溶岩の分布と地下水の関係を示した図であることから、特段の意図はない。

### 平成29年の地下水対策検討委員会の資料

Q 菰池に発生する地下水堆の水はどこから来たか疑問である。菰池での揚水によって地下水堆は生じるのか。

A 渇水期に菰池周辺の地下水水位は低下する。菰池の水水位は変化しないため、地下水に対して相対的に高くなり、菰池の水が地下に浸透する状況となることから地下水堆が確認できると考える。なお、菰池での揚水が地下水の等高線に与える影響は考慮していない。



## 瀬川 一元治（緑水会）

### 三島市における耕作放棄地対策

Q 農家数の減少により耕作放棄地の増加傾向が続いている中、この解消に向け、今後新たに市が取り組む政策はあるのか伺う。

A 農地中間管理機構関連農地整備事業が創設され、農業者に農地中間管理権設定についての理解を頂くための勉強会を開催していきたい。また、国が廃止予定の荒廃農地等利活用促進事業費補助に替わる補助金が創設された際には、市においても協賛調助成していく。

### 中郷温水池を経由する大溝川、松毛川の整備

Q 大溝川から松毛川に至るウォーキングルートの整備計画について、進捗状況を伺う。

A 調査による素案をもとに、中郷用水土地改良区や地元環境保全団体とのワークショップを行い、ポケットパークや遊歩道、植栽の整備などの構想図を作成した。また、事業効果算出のため、アンケート調査を行い、県営事業の採択に向けたための作業を実施している。



### 他の質問事項

空き家対策について

## 傍聴してみませんか

予約や受付はいりません。  
お気軽にお越しください。



(禁止および注意事項)

- ・携帯電話の使用
- ・飲食または喫煙
- ・審議の妨げとなる行為
- ・撮影および録音など

## ネットで見てみませんか

本会議をリアルタイムで見られる「ライブ中継」と、24時間いつでも見られる「録画映像」があります。「録画映像」は本会議の約1週間後からご覧になれます。



三島市議会 映像

検索



# 先進地に学ぶ

## 福祉教育委員会 7/10～12

### 子どもの貧困対策

—佐賀県武雄市—

貧困の連鎖を断ち切るため、妊娠出産期から幼保・小・中学校まで、子どもに寄り添う伴走型支援を行っている。「こどもの笑顔コーディネーター」を設置し、少し気になる子どもへの早期対応を実施し、就学援助や給付・貸付制度、ひとり親への支援策など既存のさまざまな制度での活用を図っている。



### 中学校区連携ユニット12

—兵庫県加古川市—

中学校区を1つの単位（ユニット）とし、その地域の学校・園が相互に連携し、さらに家庭、地域とも連携を図りながら、「地域総がかり教育」を合言葉に子どもたちの連続した学びや育ちを支援する制度である。ユニットにより、タテのつながりとして小1プロブレムや中1ギャップの解消、ヨコのつながりとしては各中学校区の特色を生かした事業など、さまざまな成果がみられる。

### 在宅医療・介護連携と地域包括ケアシステム

—三重県四日市市—

この取り組みは国のモデル事業となっており、2つの民間事業者による日常生活支援と、医師会による在宅の医療介護連携事業を中心に担われている。各地区で在宅介護を支援しているほか、切れ目のない在宅医療と介護の連携体制を強化することで、訪問看護、看取りへとつないでいる。

在宅医療・看取りの体制が先進的であることに驚きました。今後の三島市での取り組みに大いに参考になるものでした。



## 総務委員会 7/2～4

### コミュニティバス

—岐阜県岐阜市—

高齢者などの地域内における日常生活の移動手段の確保のため、市民協働型コミュニティバスを運行している。地域住民が主体となり、コミュニティバスの採算性やコースを見極めた上で運賃も決定している。利用者が増え続ける持続可能なコミュニティバスシステムが構築されている。

人口減少と高齢化という共通の課題がある三島市として、住民の生活の質を維持するため大いに参考になりました。



### 動物愛護事業

—兵庫県神戸市—

野良猫の不妊・去勢手術費用を公費で負担することなどを盛り込んだ「神戸市人と猫との共生に関する条例」が平成29年4月に施行された。野良猫の繁殖抑制に特化した条例は全国初となる。

また、動物愛護事業にふるさと納税を活用しており、納税されたお金はミルクボランティアや不妊手術、動物管理センターの支援に使われている。

### PFIによる市庁舎建設

—奈良県橿原市—

中心市街地の活性化と広域観光振興のため、大和八木駅前に庁舎と観光施設の複合施設をPFIにより整備した。低層部に総合窓口機能をもつ市庁舎、高層部に宿泊施設、最上階に展望施設を配置している。



行政がホテルを取得・賃貸することにより事業者を確保し、約30%の財政負担軽減が図られているが、将来的なリスクなど、総合的な判断が必要と考える。

※ PFI事業は、公共施設の建設、運営などを民間の資金、経営能力などを活用して行う手法です。

10月

- 1日 議会だより編集委員会、議会基本条例等検討特別委員会
- 5日 議会基本条例等検討特別委員会議員説明会、議会だより編集委員会
- 9日～11月8日 三島市議会基本条例（案）パブリック・コメント
- 12日 議員説明会、議会報告会運営会議、東部地区市議会議長会
- 13日 議会報告会街頭広報
- 15日 議会基本条例等検討特別委員会
- 22日 経済建設委員会
- 26日 議会報告会（市民活動センター・大社町別館）
- 27日 議会報告会（中郷文化プラザ・生涯学習センター・北上文化プラザ）
- 30日 静岡県市議会議長会定期総会

11月

- 1日 東部地区6市4町議会議長連絡会
- 2日 議会報告会（錦田公民館）
- 13日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会、総務委員会、議会だより編集委員会
- 16日 議会基本条例等検討特別委員会
- 20日～12月4日 11月定例会
- 20日 議会報告会運営会議、各派代表者会議、本会議（議案審議）
- 27日～30日 本会議（一般質問）
- 27日 各派代表者会議、議会運営委員会

12月

- 4日 本会議（議案審議）
- 7日 各派代表者会議、議会だより編集委員会
- 11日 議会報告会運営会議
- 14日 年末の交通安全県民運動街頭啓発
- 19日 各派代表者会議、議会運営委員会、議案説明会
- 21日 議会基本条例等検討特別委員会
- 26日 臨時会

2月定例会のお知らせ

- 2/ 21(木) 本会議(議案審議)
- 28(木)・3/1(金) 本会議(代表質問)
- 3/ 4(月)～8(金)・11(月) 常任委員会(予算審査)
- 13(水)～15(金) 本会議(一般質問)
- 19(火) 本会議(議案審議)

本会議は午後1時、常任委員会は午前10時の開会予定です。  
 (日程は変更になる場合があります。)

視察報告



三島市が抱えるさまざまな課題を調査するため、各常任委員会で先進地を訪問し、視察研修を行いました。

経済建設委員会 7/10～12

香里園駅東地区第一種市街地再開発事業

—大阪府寝屋川市—

日本で初の2市による市街地再開発事業となった寝屋川市香里園駅東地区は、約6年をかけ完成した。市民への周知は、VRを作成し市役所庁舎内で放映して市民に完成のイメージをより分かりやすく伝えるとともに、「香里園かほりまち」という街の名前は公募が行われ、市民がより親しみと愛着を感じられるよう積極的な参加を促した。市民にとっての利便性を最優先に作られた街並みがとても素晴らしいと感じた。



下水道事業の官民連携（コンセッション方式）

—静岡県浜松市—

浜松市は、全国で初にして唯一の下水道事業におけるコンセッション方式が行われている。コンセッション方式とは、自治体が施設などの所有権は維持したまま、その運営権のみを民間事業者に売却し運営を任せる官民連携手法の1つである。

さまざまなインフラ事業において、民営化により比較にならないほどのコスト削減に成功する可能性があるのだと教えられました。



長浜市観光振興ビジョン

—滋賀県長浜市—

長浜市観光振興ビジョンは、観光消費の拡大による地域経済の好循環を生み出し、観光資源の魅力の創造につなげることを目指すために、官民連携における「稼げる観光への転換」を図っていくことを基本方針としている。課題を明確にした上で数値目標を決め、取り組みを具体化するために、「17の戦略」を設定した。本市においても、明確な数値目標と実現のためのビジョンが必要だと感じた。

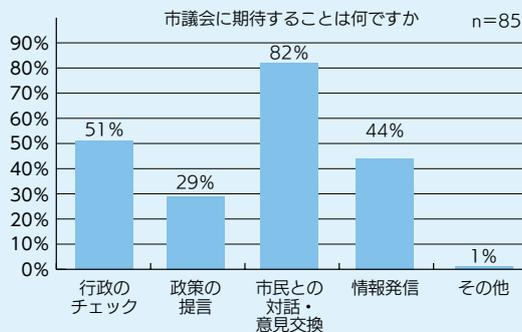
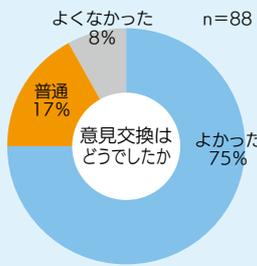
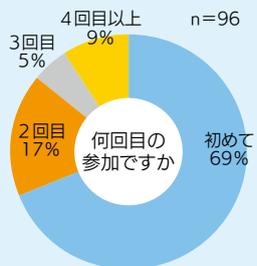
# 議会報告会を開催しました

～語ろう 三島の未来～ 10月26日・27日・11月2日

ご参加いただいた皆さま、  
ありがとうございました

3つのテーマ別に議会報告会を開催し、グループごとに意見交換を行いました。皆さまのご意見などは、今後の議会活動を通じて、三島市のまちづくりへとつなげていきたいと思ひます。

6会場で116人の方にご参加いただきました。  
アンケート結果と、いただいたご意見の一部を紹介いたします。



## 担当 ▶ 総務委員会

### 人とネコが共生するまちをめざして



- 餌やりの登録制度を作り、地域住民に周知してはどうか。
- TNR（地域猫を保護して不妊手術を行い、元の場所に返す活動）が重要だが、ボランティアの負担が大きい。
- マイクロチップ装着を義務化できると殺処分は減るのでは。



## 担当 ▶ 福祉教育委員会

### 医療・介護で安心な暮らしを ～地域包括ケアシステムについて～

- 高齢者と子どもと一緒に活動する場を作ってはどうか。
- 男性高齢者は引きこもりになりがち。地域参加を促したい。
- 空き家を利用してグループホームやシェアハウスにしてはどうか。配食サービスの集約化や安否確認もでき、良いのでは。



## 担当 ▶ 経済建設委員会

### 三島駅南口再開発事業 について



- 市民の声を反映してほしい。
- 交通渋滞に対する対策が心配だ。道幅を広げることはできないか。
- 地下水への影響は大丈夫か。調査や対策を十分にすべきではないか。



議会報告会で寄せられた行政に対する多くの要望・提言のうち、特に重要と思われる事項を市長へ要望しました。

「TNR活動に関し市と関係団体が協議できる場を速やかに設けること」、「高齢者福祉の環境を改善すること」、「三島駅南口再開発事業に当たり、市民の意見を反映させ、その透明性を確保すること」などです。

要望に対して受け取った回答は、議会だより5月1日号に掲載予定です。

なお、要望の内容は市議会ホームページにも掲載しますのでご覧ください。



議会だより編集委員会

〈委員長〉伊丹 雅治 〈副委員長〉村田 耕一 〈委員〉杉澤 正人、瀬川 元治、石渡 光一、服部 正平